



2025 「ペアレント・プログラム」 in 小郡幼稚園 9月12日

～第1回 現状把握表を書く！～ より

子どもの多様性

親子の笑顔を増していく プログラム！！

はじめに、すべての子どもにはそれぞれ違う得意なことと苦手なことがある等、子どもの多様性について確認しました。多様な子どもたちに対して、子育てもそれぞれに応じたものになるということや、その中で叱ることは無意味であり、子どもが「このように行動したらうまいった」を捉えさせることが大事であると学びました。



「行動」で見よう！

子どもが「このように行動したらうまいった」を捉えるためには、子どもは今、何ができているのか、どこまでできているのか等を把握することが必要です。子どもや保護者の姿を整理していくために行動に着目して、まずは自分自身の「いいところ」「努力しているところ」「困ったところ」を表に書き出しました。

「いいところ」とは？

「いいところ」とは、努力しなくてもパッとできること（適応行動）であると、捉え方を見直しました。

いいところ？



ペアワーク

表に記入した「いいところ」「努力しているところ」「困ったところ」を隣の参加者と話し合い、発表しました。

私のいいところは、休みの日には子どもと出かけてたくさん遊ぶところです。



私のいいところは、スケジュール管理をしているところです。



私のいいところは、手作りで食事を作っているところです。

* 第1回を終えて

初回でしたが、ペアワークでは自分のことやお子さんの様子についてたくさん話すことができました。お互いの話に共感したり「すごいですね！」とほめられたりしている姿があり、参加者の笑顔が多く見られました。「いいところ」の捉え方を考えたことは、子どもの見方についても今後大きく影響していくであろうと思われます。また、子育てと家事に忙しい日々を送られている参加者にとって同じ子育て中の仲間と話す時間は、少しホッとできる時間でもあったようです。

